

〔様式1〕 平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月27日		記入者	内線	3332
部 名	土木部	課 名	下水道整備課	課長名	石川 正次
事務事業名	溝上大野台雨水幹線整備事業				
予算上の事務事業名	継続事業費本年度支出額				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		32,620		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政 策 名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理				事業開始年度
施 策 名	第2施策 雨水対策の推進				平成15年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
下水道法第3条(管理) 公共下水道の設置、改築、修繕、維持その他の管理は、市町村が行うものとする。					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	相模原市雨水対策基本計画		「雨に強いまち」さがみはらを目標として、大雨による浸水被害の軽減・解消に向けた効果的かつ効果的な雨水対策事業を実施するもの。		
計画年次	15	年度～	17	年度	
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入 ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
本幹線流域内の麻溝台、大野台地区は、1次警戒を含む浸水被害警戒地域が点在し、慢性的に被害が発生している。また、本幹線は吐口である河川からの延長が長く、事業費も膨大なことから、最重点路線として整備を推進し、浸水被害の軽減・解消を図る。			麻溝台、大野台地区		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
トンネル掘削工	内径3750mm、延長945.2m		509,692,000円		
イメージアップ事業	下水道工事現場と女子美術大学生の作品の共同PR				
ナトム工法研修会	相模原市内土木施工会社に対し、ナトム工法(トンネル掘削工法)の研修を4回実施				
6 関連・類似事業や他市の状況					
麻溝台雨水幹線整備事業(1工区)平成17年度～19年度継続事業					
7 事業費の推移					[単位:千円]
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	0	87,447	509,692	661,000	0
一般財源	0	9,873	235,846	166,248	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	77,574	273,846	494,752	0
人件費の合計	0	801	807	807	0
事業コスト合計(a)	0	88,248	510,499	661,807	0
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	溝上大野台雨水幹線整備事業			対象名称 (単位)	工事件数(件)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	0	88,248	510,499	661,807	0
対象数	0	1	1	1	0
単位あたり経費(円)		88,248,000	510,499,000	661,807,000	
前年度比			5.78	1.30	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	工事完了件数（件）		指標式と指標の説明	工事完了件数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	0.0	1.0	1.0		
目標	0.0	1.0	1.0	1.0	0.0
目標達成度		1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	浸水被害解消率（％）		指標式と指標の説明	浸水被害解消箇所数 / 浸水被害想定箇所数 × 100 浸水被害が解消された箇所数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	0.0	4.0	4.0		
目標	0.0	4.0	4.0	4.0	0.0
目標達成度		100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	{	良好な状態を維持する事業			
	{	概ね良好な状況である事業			
	{	見直しを行う必要がある事業			
	{	抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		計画どおり平成17年度中に完了見込み。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
下流から上流に向かい順次整備を進めるだけでなく、浸水被害が生じている区間を優先的に貯留管として整備する。			長期にわたる工事のため、近隣住民に理解を得られる工夫が必要である。当該工事では「トンネルだより」を配布するなどの工夫を行った。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			